

【公開日】 2026 年 10 月 8 日

作成日 2026 年 8 月 2 日
(最終更新日 2026 年 9 月 29 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号：2026-4-104

課題名：多施設前向きコホート連携による DNA メチル化・中間表現型と疾患発症の統合解析

1. 研究の対象

次のいずれかのコホート調査・研究に参加され、各コホートのバイオバンクに DNA 試料又は DNA メチル化データが保管されている方

- ・東北メディカル・メガバンク計画 地域住民コホート調査
- ・東北メディカル・メガバンク計画 三世代コホート調査
- ・慶應義塾大学 鶴岡メタボロームコホート研究
- ・日本多施設コホート研究 (J-MICC 研究) 佐賀地区

2. 研究期間

2026 年 10 月 (研究実施許可日) ～ 2031 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 (以下「当機構」) が試料・情報の利用を開始する予定日、当機構が外部へ試料・情報の提供を開始する予定日、及び共同研究機関から当機構へ試料・情報の提供を開始する予定日は、以下のとおりです。

当機構における利用開始予定日：2026 年 10 月 (研究実施許可日以降)

当機構から外部への提供開始予定日：2026 年 11 月 1 日

共同研究機関 (慶應義塾大学・佐賀大学) から当機構への提供開始予定日：2026 年 10 月 (研究実施許可日以降)

4. 研究目的

日本の複数地域の前向きコホート研究に参加された方について、過去にご提供いただき各コホートのバイオバンクに保管されている DNA から DNA のメチル化 (エピゲノム) を測定し、病気の発症や、その発症のリスクとなる中間的な指標 (検査値・生活習慣など) との関わりを調べます。これにより、病気の原因の解明や、一人ひとりに合った予防・医療の実現に役立つ情報の基盤をつくることを目的としています。

5. 研究方法

各コホートのバイオバンクに保管されている、過去にご提供いただいた DNA と、すでに得られている検査・調査・追跡などの情報を用います。本研究のために、新たに採血などを行うことはありません。DNA のメチル化を測定し、既存のゲノム情報や健康情報、病気の発症・経過の情報などと合わせて解析します。個人が特定できない形にまとめた統計情報は、研究用の公開データベース「jMorp」で公開します。

本学と共同研究機関の関わり方は次のとおりです。東北大学東北メディカル・メガバンク機構は、東北メディカル・メガバンク計画の各コホート及び慶應義塾大学 (鶴岡メタボロームコホート研究) から DNA 試料と情報の提供を受け、DNA メチル化の測定と解析を行います。佐賀大学 (J-MICC 研究佐賀地区) からは、すでに測定されている DNA メチル化データと関連する情報の提供を受けます。佐賀地区の試料を新たに測定することはありません。測定して得られたデータは、提供元の機関へお返しします。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：DNA メチル化データ、ゲノム（全遺伝情報）データ、基本情報、検査情報、調査票情報、健診情報、病気の発症・経過（追跡）の情報

試料：DNA（東北メディカル・メガバンク計画及び鶴岡メタボロームコホート研究のバイオバンクに保管されている、過去にご提供いただいたもの）

7. 外部への試料・情報の提供

DNA メチル化を測定するためのシーケンス解析を株式会社ハプロファーマに委託します。試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除して研究用 ID のみを付し、運送業者による保冷輸送等により委託先へ提供します。対応表は、東北大学東北メディカル・メガバンク機構の研究責任者が保管・管理します。

(1) 当機構から委託先（株式会社ハプロファーマ）への提供

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：東北メディカル・メガバンク機構長 張替 秀郎

【提供を行う試料・情報】

試料：DNA、調製済みのシーケンス用ライブラリー試料

情報：研究用 ID

本研究は多機関共同研究であり、共同研究機関との間で次のとおり試料・情報の授受を行います。

(2) 慶應義塾大学から当機構への提供

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：慶應義塾大学

機関長名：慶應義塾長 伊藤 公平／研究責任者：医学部衛生学公衆衛生学教室教授 武林 亨

【提供を行う試料・情報】

試料：ゲノム DNA

情報：DNA メチル化状態、年齢、性別、学歴、睡眠、運動、飲酒、喫煙、ストレス、既往歴・家族歴、身体測定結果、血圧、血液検査結果、疾患（発症・追跡）情報

(3) 佐賀大学から当機構への提供

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：佐賀大学

機関長名：佐賀大学長 野出 孝一

【提供を行う試料・情報】

試料：なし（佐賀大学から試料の提供は受けません）

情報：DNA メチル化データ、基本情報、検査情報、調査票情報、健診情報、病気の発症・経過（追跡）の情報

(4) 当機構から慶應義塾大学への提供

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：東北メディカル・メガバンク機構長 張替 秀郎

【提供を行う試料・情報】

- 試料 : 測定に供した後に残余するゲノム DNA 試料 (鶴岡メタボロームコホート研究へ返却します)
- 情報 : 本研究において新たに取得した鶴岡メタボロームコホート研究由来の DNA メチル化データ (一次データ及び処理後データ) 並びに品質管理情報

なお、当機構から佐賀大学へ提供する試料・情報はありません。
また、個人が特定できないよう措置した要約統計量等を、当機構が運営する公開データベース jMorp (<https://jmorp.megabank.tohoku.ac.jp/>) を通じて公開します。将来、他の研究機関へ試料・情報を分譲する場合は、別途、倫理審査委員会及び試料・情報分譲審査委員会の審査・承認を経て行います。

8. 研究組織

本研究は多機関共同研究です。

- ・研究代表機関：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 (研究責任者 清水 厚志)
- ・共同研究機関：慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 (鶴岡メタボロームコホート研究／研究責任者 武林 亨)
- ・共同研究機関：佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野 (J-MICC 研究佐賀地区／研究責任者 原 めぐみ)

本研究は、東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会において一括審査を受けます。

9. 利益相反 (企業等との利害関係) について

当機構では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は、東北メディカル・メガバンク機構の運営交付金 (間接経費等)、日本学術振興会科学研究費助成事業、日本医療研究開発機構委託研究開発費、寄附金です。外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機構における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 研究事務局 美辺 詩織

住所：〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-274-5983 shiori.minabe.b3@tohoku.ac.jp

当機構の研究責任者：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム解析部門 統合ゲノム予測医学分野 教授 清水 厚志

共同研究機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 (鶴岡メタボロームコホート研究)

担当者の所属・氏名：慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 土岐 了大
住所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
連絡先：03-5363-3758

佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野（J-MICC 研究佐賀地区）
担当者の所属・氏名：佐賀大学医学部 淵上 美由紀
住所：〒849-8501 佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号
連絡先：0952-34-2289 fuchigml@cc.saga-u.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「10. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合

なお、共同研究機関における個人情報の開示等の手続きは、各機関の定めるところによります。詳しくは「10. お問い合わせ先」の各機関の連絡先へお問い合わせください。